

大田母親連絡会

活動テーマ

「生命を生み出す母親は生命を育て守ることを望みます」

大田母親連絡会のあゆみ

日本母親大会連絡会と東京母親大会連絡会と共に連携して活動してきました。1960年日本母親連絡会の目標に賛同する女性団体や有志が集まって設立しました。以来、コロナ禍を除き、毎年「大田母親大会」を開き草の根の活動を続けてきました。

1988年、大田消費者団体に加入し、毎年テーマを決めて「教育」、「食べもの」、「暮らし」、「環境」、「医療」、「福祉」、「平和」などを中心にして活動してきました。

今年度は

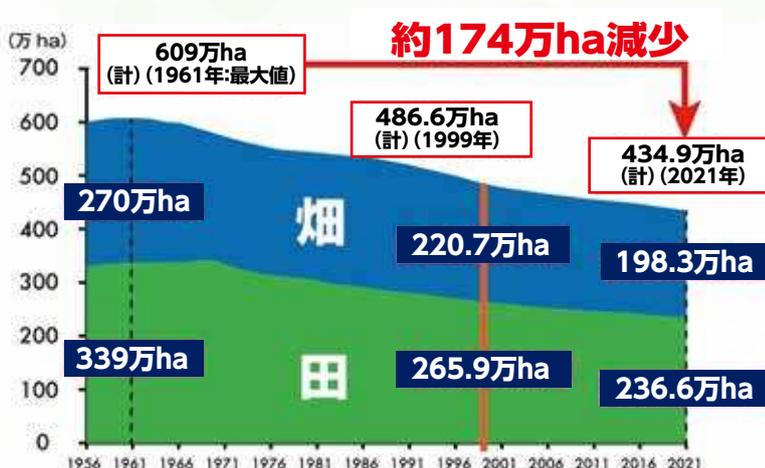
「日本の農業と食料自給率」をテーマに研究することになりました。

☆食料自給率を研究しようと思ったきっかけ

予想もしなかった 2022.2.24 ロシアによるウクライナ侵攻をきっかけに日本国が、他国と断絶することになったら食料はどうなるのだろう。

またその後の不安定な国際情勢をみるにつけ、日本の食料事情がとても心配になり「食料自給率について学ぼう」ということになりました。

2024.2.25 食ジャーナリスト小倉正行氏を迎えて「食料自給率を引き上げるために今、私たちが考えたいこと、考えなければならないこと」と題して講演を聞きました。今後も引き続き深めていきたいと思えます。



出典：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

耕作放棄地は
東京都と大阪府を
合わせた広さ以上に！



食べもの通信●2023.09